



「特集」

技

快適性を追求したリフォームで暮らしが変わった！
「明るくて暖かい安心できる家へ」

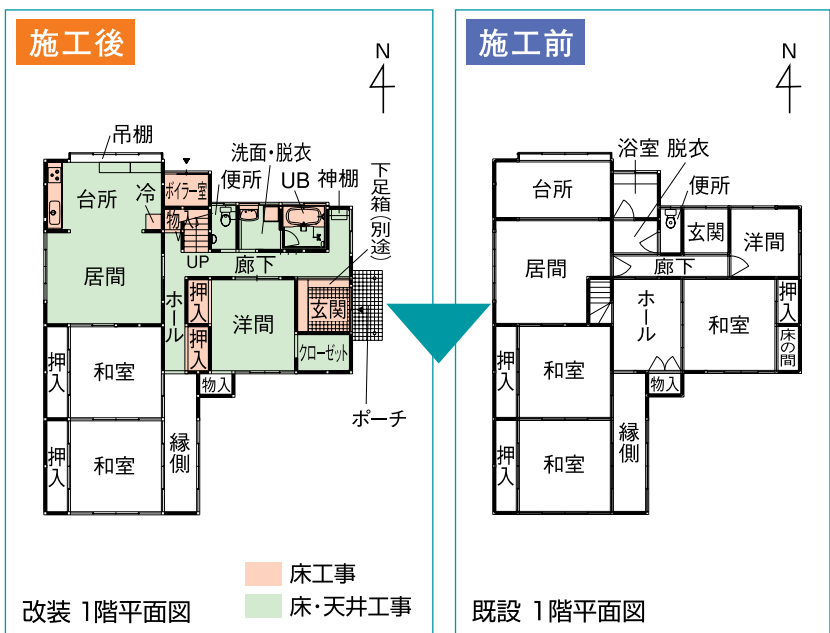
思い続けた家への不満とリフォーム

富山県高岡市にある戸出(といで)地区は、その昔「灯油田」と書かれ、灯油を作るための菜種(菜の花)が多く栽培された。今では輸入自由化により栽培量は減少したものの、春になると黄色の菜の花畑が辺りに一面に広がり、満開の時期にあわせて様々なイベントが開催されている。

この地に住む高田夫妻が今回の依頼者。三〇年前に建売の平屋を購入。住み始めた頃から家のいろいろな所が気になつてはいたが、改築を真剣には考えていなかった。その後、家族構成の変化に合わせて一階の居間と和室、二階を増築。居住空間は広がったものの、家への不満は依然として残っており、時間が過ぎるほどに大きくなっていった。

道路に反して北向きの玄関物が上がらない階段

その一つが北を向いた玄関。日光が入らず、晴れて



以前の玄関



現在の玄関

いても玄関と廊下は薄暗い。かつ、宅地が東側を通る道路に面しているため、車庫までの移動が煩わしかった。

また、増築により家の中央に設置された階段は途中で折り返すようになっており、幅が狭く、大きな荷物はどうしても上がらなかった。

「リフォームで何とかしたいと思っていました。」とご主人。

「どちらか難しい技術が必要としないリフォームだが、少しの工夫が求められた。」

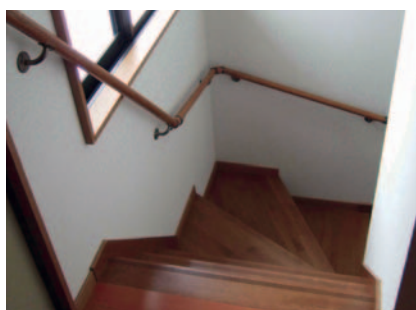
「玄関の移動は数本の柱を入れ替えるだけで対応できました。ただ、ポーチの屋根を取り付けられる場所に凹凸があり、限られた範囲でも施工できるような屋根の勾配をゆるくしました。」

また階段は、廊下幅を広くした分、普通の階段より勾配が急になります。昇降しやすいうよう、原寸を床に書いて、使い勝手を確認しながら施工しました。」と担当者。

「手すりも付けてくれて上り降りしやすくなりました。」とご夫婦は満足されていた。

いつも気を抜けない20センチの段差

今回のリフォームで解決したい一番の悩みが、増築で居間と廊下の間でできた20センチほどの段差だった。



お子さんが就職して家を離れ、今は落ち着いた生活を送る高田夫妻。かつて灯油が人々の生活を明るく灯し、豊かな文化を支えたように、リフォームも人々の暮らしを豊かにするものだと思つ。(技ネット)

明るくて暖かい安心できる家に

長い間、我慢してきた不満は家の広範囲にわたり、床面積の3分の2ほどをリフォームした。シャワーの出が弱かったお風呂を入れ替え、煮物をしたまま外出してしまふ煙を立ちこめてしまった台所はIHにした。そして、床に断熱材を入れたことで、ストーブを二台使い、部屋をカーテンで仕切らなければ寒くて仕方なかった昔の生活から開放された。



(左)リフォーム後の廊下。(右)リフォーム前の廊下
明るくなり、幅は広がった。奥に続く居間との境にある段差を取り除いた。

今月のオーナー訪問



高田さんご夫婦

わがままをたくさん言いました

打ち合わせでは、これまで我慢していた家に対する不満を、自分でもわがままだと思っくらしい全部伝えました。図面を書き直してもらったりもしました。松島工業さんは私たちの要望をよく聞いてくれたと思います。

また、職人さんが順序良く来てくれたので、工事は雪の降る前に終わりました。近所の皆さんから「早かったね」と評判です。

居間の段差がなくなつて楽になりましたし、何より明るく暖かい家になりました。今のところ不満は何もありません。ありがとうございました。(談)



技のリフォーム

0120-183-304